



「旧盆は同居家族で」  
 県議会議長 緊急メッセージ  
 県議会の赤嶺昇議長は19日、新型コロナウイルスの感染急拡大を受け、県民に緊急メッセージを発送した。仲田弘毅副議長は「県民一人一人が頑張ることで必ず乗り越えられる」と述べた。

2021年8月20日 琉球新報

休校や学校再開  
 判断基準を論議  
 知事と県議会各派

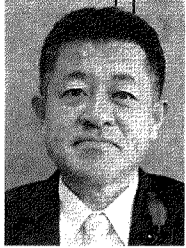
玉城デニー知事ら県三役と県議会各会派代表者による意見交換会が27日、県庁で開かれた。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、学校再開について意見を交わした。

会議は非公開。意見交換後に取材に応じた赤嶺昇議長によると、多くの会派が休校や学校再開について、基準を県として示すよう求めた。感染者数が高止まりする現状では夏休みの延長や臨時休校をする必要があるとの意見も一部会派から出たという。

玉城知事は意見を参考にすると述べるにとどめたという。意見交換会は、与野党が一致して県に求めた。赤嶺議長は県が意見交換会の公開に難色を示したとして「オープンにして県民にやりとりを見せ、判断をしてもらった方が良いのではないか。今後も積極的に意見交換したい」と述べた。

2021年8月30日 琉球新報

2021  
 新聞週刊  
 私の一言



地域の報道、持ち味

赤嶺昇さん(54)＝県議会議長、浦添市 沖縄県民にとって新聞は大事だ。今はインターネットで瞬時に情報を見られる時代だが、地域の情報はそれほど多くない。地域の継続的な活動を報じるのは新聞の持ち味だろう。

赤嶺昇さん(54)＝県議会議長、浦添市 注文としては、青少年や弱者のみならずの活動や頑張っているところをもっと積極的に掲載してほしい。私も経験があるが、新聞に掲載されると励みになる。子どもたちをもっと取り上げてほしい。

私は本土での学生のころ、新聞奨学生をしていた。学費を稼ぐことができて新聞には助けられた。とても良い制度だ。一方で、SNSの登場で若者の新聞離れが続いている。今は情報過多の時代だ。ちょうど来年、日本復帰50年を迎える。新聞はこれまでの役割を果たしつつ、これからの時代に沿って変わっていくべきだ。

2021年10月15日 琉球新報



「うちなーぐち会」(源河朝盛会長)は10日、県議会の赤嶺昇議長に、うちなーぐちを条例で県の第2公用語に制定するよう要請した。源河会長は「復帰50周年の節目で、世界のウチナーンチュ大会もあり、今年を逃したら永久に実現できない」と協力を求めた。

赤嶺昇議長(中央)に要請書を手渡す、うちなーぐち会の源河朝盛会長(右から3人目)10日、県議会

議長に条例制定要請

赤嶺議長は「経済労働委員会でも議論したい。実現には県との連携も必要になる」と答えた。

県では2006年に「しまくとぅばの日」が条例で制定されている。源河会長は「うちなーぐちは沖縄共通のいわば国語。地域の言葉であるしまくとぅばと分けて考えなければいけない」と強調。「本や学者を頼らず、戦前生まれの私たち話者を活用してほしい」と述べた。

2022年3月11日 沖縄タイムス

ゴルフリゾート  
 早期整備を陳情  
 石垣市長ら県議会に

石垣市の中山義隆市長と同市選出の大浜一郎県議(沖縄・自民)らは13日、県議会に赤嶺昇議長を訪ね、ユニマットプレジヤス(東京)が石垣島で予定するゴルフリゾート計画の早期整備を求め、陳情書を提出した。赤嶺議長は「しっかりと議会でも議論したい」と述べた。

中山市長は、土地利用調整計画で県の同意が得られず、事業が約9カ月遅れていると指摘。「企業の進出や雇用の創出など、貴重な機会の損失を招く可能性がある」とし、県が手続きを進めるよう県議会に協力を求めた。また、ゴルフリゾートの整備で年間約250億円の経済効果が見込まれるとし、開発で失われる農地は同市全体の農地の1%にすぎないと訴えた。

玉城デニー知事への要請も予定していたが、県側の意向で中止となった。大浜県議は「一方的なキャンセルで、離島軽視、侮辱に当たる」と批判した。

2021年7月18日 沖縄タイムス

水難事故防止へ  
 連携強化を請願  
 セービング協会、県議会に

沖縄ライフセービング協会(音野太志代表理事)は17日、2021年度の水難事故発生件数が過去最多ペースで推移していることを受け、水難事故防止に向けて関係機関の連携強化を図る「連絡協議会」の設置を求める請願書を県議会に提出した。協会によると、2019年の水難事故の約6割は自然海岸で発生している。新型コロナウイルスの緊急事態宣言の影響で、公営ビーチが閉鎖された結果、自然海岸の利用者がさらに増え、水難事故が急増しているという。

請願書は「自然海岸での安全確保はまったなしの状況だ」と指摘。県や県警、消防、海上保安庁、市町村などによる連絡協議会の設置、自然海岸のパトロール活動を充実・強化するための予算措置を求めた。

音野代表理事は「沖縄では水難事故は交通事故よりも死者数が多い。パトロール範囲もできる限り拡大したい」と述べた。請願書を受け取った赤嶺昇議長は「中央には「緊急議論をした」とした。

2021年8月18日 琉球新報

うちなーぐち「公用語」に



# 高2自殺再調査要求

## 保護者有志 県議会に陳情書

部活動の顧問から執拗な叱責を受けたコザ高校2年(当時)の男子生徒が自殺した問題について、県が設置した第三者調査チームの調査が不十分だと、県立高校の保護者有志は18日、再調査を求める陳情書を県議会の赤嶺昇議長に提出した。開会中の6月定例会で陳情を審議する。

保護者有志は、聞き取りの対象職員が校長や教頭、担任、顧問など一部に限られたことや、報告書で教員や学校、県教育委員会の責務が明確になっていないことなどの調査の不十分さを指摘。①県教委から独立した第三者委員会の設置と再調査の教員、学校、県教委の責務の明文化②子どもや保護者の声を聞く公的第三者機関の設置—を求めた。



赤嶺昇県議会議長(左から2人目)に陳情書を手渡す高校保護者有志ら18日、那覇市泉崎の県議会

有志の鈴木友一朗さんは「ほかの先生は自殺した生徒に対する顧問の接し方を分かっていたのか、分かっていたかと言えなかったのか、調査からは分からない。何が起ったのか分からない」と、対策がずれてしまっていると説明した。

赤嶺議長は、報告書に関する全議員向けの説明会を非公開で実施した上で「沖縄に子どもにとって、極めて大きな陳情だ」と述べ、「丁寧に審議していく考えを示した」。

2021年6月19日 琉球新報

### 記者のメモ

## 沖縄戦 大人も学び直し



○…糸満市のひめゆり平和祈念資料館を視察した、赤嶺昇県議会議長。職員の見聞を受けながら展示資料に見入った。コロナの影響で県外からの来館者が激減する状況も確認。館長らに「逆に、多くの県民が沖縄戦を学び直すチャンスにしたい」と提案した。稼働率が落ちている観光バスを活用し、全員の小中高生が資料館で学べるよう、後押しを誓う。「来年は本土復帰50年の節目。大人も沖縄戦の学び直しが必要。多くの人に勧めたい」。県民も沖縄戦への理解を深める年にすると、力を込めた。

2021年6月17日 沖縄タイムス

### 記者のメモ

## お土産に離島の品PR



○…「離島フェア2021」開会式に来賓で参加した赤嶺昇県議会議長。県議や県職員らに、県外や海外に持って行くお土産は「離島の品にした方がいい」と提案した。以前からお土産は県産品だが「似た感じの品が多い。個性の強い島の産品を積極的に出したら」と促した。特に南米のウチナンチュに注目。彼らに、祖先が生まれた島で生産している品をお土産として渡せば「きつと喜んでもらえる。土産話も弾むはずだ」。離島の持ち味を生かすため、議長自らも一肌脱ぐ意気込みを見せた。

2021年11月11日 沖縄タイムス

### 記者のメモ

## 議会運営乗り切り安堵



○…今年最後の本会議で1年を振り返った赤嶺昇県議会議長。4回の定例会のほか、コロナ禍に伴う補正予算案の審議などで臨時会は6回を数えた。「観光再興条例」は5年ぶりの議員提案条例で、日曜の議会開催もあつた。軽石問題やPFOSを含んだ汚染水流出など米軍関連の事件事故も相次ぎ、多岐に及ぶ審議をまとめた。来年は復帰50年の節目を迎える。「英知を結集し、二元代表制の一翼を担う機関として、県民の負託にこたえてまい進する」と誓いつつ、議会運営を無事に終え安堵の表情。

2021年12月22日 沖縄タイムス

## 議長席でウズウズ?



### 記者席

○…新型コロナウイルスの新規感染者数が再度増加傾向にある中、子どもたちの間での広がりにも気を配る赤嶺昇県議会議長。学校PCR検査の対象が1月から狭められたことに、「学校での感染が家庭での広がりにもつながっている」と教育委員会から資料を取り寄せて研究し、教育長に対象拡大を直談判。県議会でもこれまで複数の県議が見直しを求めていたが、議長の声も響いた結果か、対象拡大が決まった。一議員として議長席でウズウズが止まらない様子。

2022年3月8日 琉球新報

## 県議会は胸を張り



### 記者席

○…中山義隆石垣市長や経済団体の要請を受けた赤嶺昇県議会議長。リゾート建設が県との調整で時間を要している現状を聞き、「『離島の発展なくして県の発展はない』という中で違和感がある。議論したい」と応じた。市長らの要請を県側が緊急事態宣言下を理由に断ったことにも触れ、「要請すら受けないのはいかがなものか」とチクリ。「二元代表制の一翼を担う、県議会は県議会としてしっかり承りたい」と胸を張った。「もう一方の代表」への思いはいかに。

2021年7月15日 琉球新報

新年明けましておめでとうございます。令和4年の年頭にあたり、沖縄県議会議長を代表いたしまして、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

県民の皆様には、平素より議会活動に対するご理解並びにご協力を賜り、誠にありがとうございます。

要請に伴って生じる行動の抑制は、経済活動に大きな影響を与え、各種産業の営みは軒並み厳しい状況が続いております。我々沖縄県議会といたしましては、この一歩一歩の施策があらゆる産業の再興に結びつくよう、改めて取り組んでまいります。

この間、沖縄都市モノレールや那覇空港第二滑走路の建設、大型クルーズ船受入環境の整備など、建設産業をはじめとする各種産業界のご盛衰並びに「発展を心から祈念申し上げ、年頭の挨拶いたします」。



## 沖縄の発展へ 建設産業の力に期待

赤嶺昇 議長

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の脅威が県民生活に大きな影響を与えたとを痛感いたします。県民や事業者の皆様方に感謝の気持ちを込めて、本土対策への協力を仰ぎ、全県総力を挙げて感染終息に向け力を尽くす今日までの歩みに思いを込めます。

今年、復帰50周年の大きな節目の年になり、大戦から米軍統治下までの苦難を乗り越え、帰を果した先人の苦勞を顧みるとともに、本土との格差是正を目指し自立経済の構築に邁進する今日までの歩みに思いを込めます。

この間、沖縄都市モノレールや那覇空港第二滑走路の建設、大型クルーズ船受入環境の整備など、建設産業をはじめとする各種産業界のご盛衰並びに「発展を心から祈念申し上げ、年頭の挨拶いたします」。

充当外  
和出  
= (9.92 + 2.4)  
= 12.32  
= 12.32 / 100  
= 0.1232  
= 0.1215  
= 0.3785  
= 37.85% 充当可

# 令和3年沖縄全戦没者追悼式 式辞

本日、令和3年沖縄全戦没者追悼式を執り行うに当たり、全ての犠牲者の御霊に対し謹んで哀悼の誠を捧げ、併せて、御遺族の皆様へ心から哀惜の意を表します。

鉄の暴風と呼ばれ、一般住民を巻き込んだ苛烈な地上戦が行われた沖縄では、激しい戦闘の果てに20万人余の尊い命が失われ、県民も4人に1人が犠牲となりました。その終焉の地であるここ摩文仁の丘に、今、平和を願う多くの祈りが捧げられています。

大戦を経て米軍の占領下におかれた沖縄は、本土復帰から49年が経過した今もなお、過重な基地負担を強いられています。周辺に住宅地が密集し世界一危険と言われる普天間飛行場の存在、米軍人・軍属等による相次ぐ事件・事故、今年に入り各地で発生した米軍機の低空飛行訓練、さらに今月初めにも米軍ヘリコプターの不時着事故が発生しており、沖縄県議会としても米軍基地問題に関する意見書・決議を復帰後、479件挙げています。米軍基地の整理縮小・日米地位協定の抜本的な改定に取り組むことを日米両政府に対して強く求めます。

平和を願う祈りは、原爆投下による歴史的な惨禍に見舞われた広島や長崎においても行われています。核兵器のない平和な世界の実現を願う人々は、我が国が唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約に賛同し、世界を非核化に導く主導的な役割を果たすことを望んでいます。

戦争の惨劇を目の当たりにし、惨苦を味わった方々の「戦争は二度と起こしてはならない」との思いが、世代や地域を超えて世界で一つとなることを我々は切に願います。

終戦から今日までの76年間、日本は平和憲法の下、国民の命を戦争によって一人たりとも失うことなく確固たる平和国家を築いてきました。戦争をしない日本だからこそ、世界平和への導き手として力を発揮することが求められています。

戦争により著しく荒廃した沖縄において、戦禍の傷も癒え

ず物資も乏しい中、県土を開発し、産業を振興・発展させてきた先人の方々には、感謝と尊敬の念に堪えません。今ある豊かさは、戦争を体験してきた先人の労苦のもと築き上げられた平和の証であります。

平和な時代に生まれ、日々の生活を営む中で、戦争により引き起こされた悲しみが過去のものとして風化していくことが危惧されます。おジイ、おバアから語られる機会が失われつつある今日、沖縄戦の体験やそこから学んだ教訓を伝え継ぐ難しさが問われています。この代えがたい経験を継承していくためには、我々皆が過去の戦争を学び直し、今ある平和を見つめ直す必要があります。その上で将来を担う子供たちに同じ目線になって語りかけ、共に考えることが、私たち大人の役割ではないでしょうか。

本年3月に、11月1日を琉球歴史文化の日と定める条例が制定されました。沖縄には世界に誇れる数多くの歴史と文化があり、その中の沖縄空手は、礼節を尊ぶ守礼の心をもって「平和の武」と言われ、世界中に1億3000万人の愛好家があります。人々の心を捉えるウチナー文化を発展させ、世界に発信していくことも、平和の心を育む一つの形であると考えます。

本日、新型コロナウイルス感染症の影響により、心ならずもこの式典に参列できなかった皆様の平和への思いと共に、沖縄戦の惨禍を再び起こさない世界的な恒久平和の確立に力の限り尽くすことを、ここに固くお誓い申し上げます。

結びに、全ての御霊の御冥福と御遺族並びに県民の皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、式辞といたします。

令和3年6月23日

沖縄県議会議長 赤嶺 昇

## 県議会議長、県遺族連合会会長あいさつ(要旨)



大戦を経て米軍の占領下におかれた沖縄は、本土復帰から49年が経過した今もなお、過重な基地負担を強いられています。周辺に住宅地が密集し、世界一危険と言われる普天間飛行場の存在、米軍人・軍属等による相次ぐ事件・事故、今年に入り各地で発生した米軍機の低空飛行訓練、今月初めにも米軍ヘリコプターの不時着事故が発生しており、県議会としても米軍基地問題に関する意見書・決議を復帰後、479件挙げています。米軍基地の整理縮小・日米地位協定の抜本的な改定に取り組むことを日米両政府に対して強く求めます。

### 赤嶺昇県議会議長

戦争により著しく荒廃した沖縄において、戦禍の傷も癒えず物資も乏しい中、県土を開発し、産業を振興・発展させてきた先人の方々には、感謝と尊敬の念に堪えない。今ある豊かさは、戦争を体験し

## 過去を学び直す必要

た先人の労苦の下、築き上げられた平和の証だ。平和な時代に生まれ、日々の生活を営む中で、戦争により引き起こされた悲しみが過去のものとして風化していくことが危惧される。おじい、おばあから語られる機会が失われつつある今日、沖縄戦の体験やそこから学んだ教訓を伝え継ぐ難しさが問われています。

この代えがたい経験を継承していくためには、皆が過去の戦争を学び直し、今ある平和を見つめ直す必要がある。その上で将来を担う子供たちと同じ目線になって語りかけ、共に考えることが、私たち大人の役割ではないだろうか。

2021年6月24日 琉球新報



赤嶺昇氏  
県議会議長

県議会の赤嶺昇議長は式辞で、戦後の日本は平和憲法の下、戦争によって一人の国民も命を落とさず、平和な国家を築いてきたと話

## 戦争体験の風化危惧

「戦争の惨劇を目の当たりにし、惨苦を味わった方々の『戦争は二度と起こしてはならない』との思いが、世代を超えて世界で一つになることを切に願う」と平和への思いを誓った。

また「平和な時代に生まれ、日々の生活を営む中で、戦争により引き起こされた悲しみが過去のものとして風化していくことが危惧

される」と話し、過去の戦争を学び直す必要性を強調した。

県議会は日本復帰以降、米軍基地問題に関する意見書・決議を479件可決したが「今年に入り各地で発生した米軍機の低空飛行訓練、今月初めにも米軍ヘリコプターの不時着事故が発生している」と今なお続く基地被害を指摘した。

その上で「米軍基地の整理縮小、日米地位協定の抜本的な改定に取り組むことを日米両政府に強く求める」と訴えた。

2021年6月24日 沖縄タイムス

### 経費区分別支出一覧表

経費区分      資料購入費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
毎月払	琉球新報(4月~3月) 3,075×12カ月分	36,900	全額	36,900
毎月払	沖縄タイムス(4月~3月) 3,075×12カ月分	36,900	全額	36,900
資料購入費 充当合計		/	/	73,800

年月日	記号	お支払金額	お預り金額	差引残高	備考
03-05-06	WTU	3,075			シブホウ04カツフン
03-06-07	WTU	3,075			シブホウ05カツフン
03-07-05	WTU	3,075			シブホウ06カツフン
03-08-05	WTU	3,075			シブホウ07カツフン
03-09-06	WTU	3,075			シブホウ08カツフン

資料購入費 充当額 ¥15,375  
 充当総額 ¥15,375 4・5・6・7・8月 5ヶ月分  
 充当割合 10/10 (政務活動のための資料)  
 ※ 口座振替

年月日	記号	お支払金額	お預り金額	差引残高	備考
1 03-10-05	WTU	3,075	シホウ09カツフン		
6 03-11-05	WTU	3,075	シホウ10カツフン		
11 03-12-06	WTU	3,075	シホウ11カツフン		
14 04-01-05	WTU	3,075	シホウ12カツフン		
20 04-02-07	WTU	3,075	シホウ01カツフン		

記号説明

D.....現金入金 U.....後日記帳  
 DT.....振替入金 C1.....入金日の翌営業日12時 | 証券類による入金

資料購入費 充当額 ¥15,375  
 充当総額 ¥15,375 9・10・11・12・1月 5ヶ月分  
 充当割合 10/10 (政務活動のための資料)  
 ※ 口座振替